



仙台大▽広島ドラ1 器用さ備えた両打ち強打者

# 平川 貪欲

## 「51」背負い打線の救世主へ

迫力不足にあえぐ打線の救世主になれるか。身長187センチ、体重93キログラムの体格を誇るプロ野球広島ドラフト1位、平川蓮外野手（仙台大）は「左は広角に打ち分けるバットコントロール、右はパワフルなスイング。.....新人合同自主トレでキャッチボールする広島・平川＝広島県廿日市

両方でホームランを狙える」と自負する大型のスウィッチヒッターだ。昨秋の仙台六大学リーグで本塁打王、打点主に加えて盗塁王を獲得。身体能力の高さを武器に「走攻守でアピールできる」と自信たっぷり。話し、新井貴浩監督は「器用さもあるし肩も強い。とにかくスケールの大きい選手になって」と願う。

もともとは右打ちだったが、投手をしていた北海道・札幌国際情報高時代にけがの影響で左打ちに変更。仙台大で野手転向し、プロを見据えて両打ちとなった。筋力トレーニングに励み、体重は4年間で約20キログラム増えた。持っていたスウィッチは着られなくなった。「あまり苦労せず、楽しく野球をやってきた」とさりとらうものの、分厚い体が厳しい鍛錬の成果を物語る。

広島は昨季の本塁打数がリーグ最下位と長打力が課題で、割って入るチャンスは大いにある。背番号は「51」。米大リーグ・カブスの鈴木誠也外野手や、昨季首位打者の小園海斗内野手も背負った。1軍でキヤンプに入る将来の主軸候補は「重い番号。任された以上、1年目から頑張らないといけない」と燃えている。